

第1章

ワークシステム・サポートプログラムの 概要

第1章 ワークシステム・サポートプログラムの概要

障害者職業総合センター職業センター（以下「職業センター」という。）では、知的障害を伴わない発達障害の診断を受けている者（以下「発達障害者」という。）を対象とした「ワークシステム・サポートプログラム」（以下「WSSP」という。）を実施しています。職業センターは、WSSPの実施をとおして、発達障害者の職業リハビリテーションにおける支援技法の開発・改良と、その成果の伝達・普及を行っています。

WSSPの支援の目的は、13週間のプログラムを通じて「障害特性と職業的課題、就労上のセールスポイントなどについて把握すること」「個々の課題への対処方法、周囲に求める配慮などについて整理すること」「職業生活を維持するために必要な技能（問題解決技能・職場対人技能・リラクゼーション技能・手順書作成技能）の習得を図ること」です。

1 支援の流れ

WSSPの支援の流れは図1-1のとおりです。

WSSPは「ウォーミングアップ・アセスメント期（5週間）」（以下「アセスメント期」という。）と「職務適応実践支援期（8週間）」（以下「実践支援期」という。）の合計13週間で実施しています。

アセスメント期には、障害特性や職業的課題など受講者の状態像について、環境との相互作用を含めて把握します。また、受講者の状態像に応じた支援方法の仮説作りを行います。実践支援期では、アセスメント期で作った仮説の検証、就職後や復職後等の個別の状況に応じた支援方法の整理を行います。

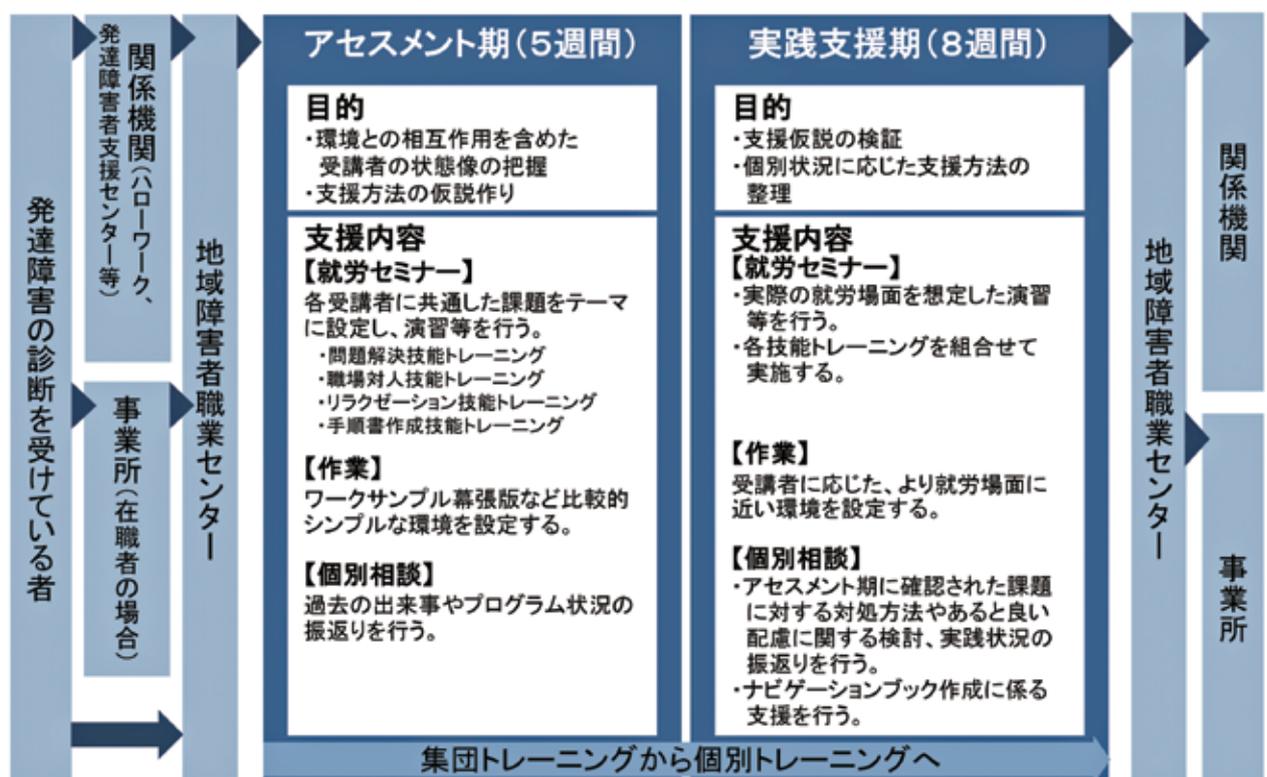


図1-1 WSSPの支援の流れ

2 基本構成

WSSP は、「就労セミナー」、「作業」、「個別相談」で構成されています。

「就労セミナー」では、問題解決技能トレーニング^{1,2)}、職場対人技能トレーニング^{3,4)}、リラクゼーション技能トレーニング^{5,6)}、手順書作成技能トレーニング⁷⁾の4つの技能トレーニングを通じて、職業生活を維持するために必要な技能の習得を図るとともに、受講者の特徴についてアセスメントを行います。

「作業」では、アセスメント期、実践支援期の2期に分けてアプローチします。アセスメント期においては、ワークサンプル幕張版[※]を中心に比較的シンプルな作業環境を設定し、作業遂行上の障害特性の現れ方を確認します。並行して、作業の進め方を工夫したり、環境調整などを行いながら、各受講者の障害特性に応じた対処方法を検討するための情報を収集します。実践支援期においては、より就労場面に近い作業環境を設定し、検討した対処方法や受講者に合った周囲の関わり方（指示の出し方など）を試し、その効果を検証します。

「個別相談」では、これまでの経験や WSSP で見られた様子、起こった出来事について受講者自身のとらえ方を聞いたり、支援者からフィードバックしながら、障害特性、セールスポイント、課題への受講者自身の対処方法、周囲に求める配慮事項（作業環境の設定や周囲の関わり方）などについて、受講者とともに考え、作業などで試した状況の振り返りを行います。整理された特性や対処方法、配慮事項などについては、受講者がナビゲーションブック⁸⁾に取りまとめます。

なお、WSSP では、支援を効果的に進めるために「就労セミナー」、「作業」、「個別相談」の各場面を関連づけながら支援を行っています（図1-2）。たとえば、「作業」において手順を何度も間違ふといった課題が確認された場合、「就労セミナー」の問題解決技能トレーニングにて「作業手順を何度も間違ふ」をテーマにグループ・ディスカッションを行い、手順を間違わないための対処方法を検討します。また、「個別相談」では、検討した対処方法をどのように実行するかを話し合ったり、実行した結果を振り返る、などを行っています。

※ワークサンプル幕張版は、OA 作業、事務作業、実務作業に大別される 13 種類のワークサンプルで構成されたツール。職業能力の評価だけでなく、作業を行う上で必要となるスキルや職務遂行を可能とする環境（補完手段や補完行動、他者からの支援等を含む）を明らかにすること、様々な様相で現れる職業上の問題に対応できる訓練課題としての機能も果たせることなどを目的に開発された⁹⁾。

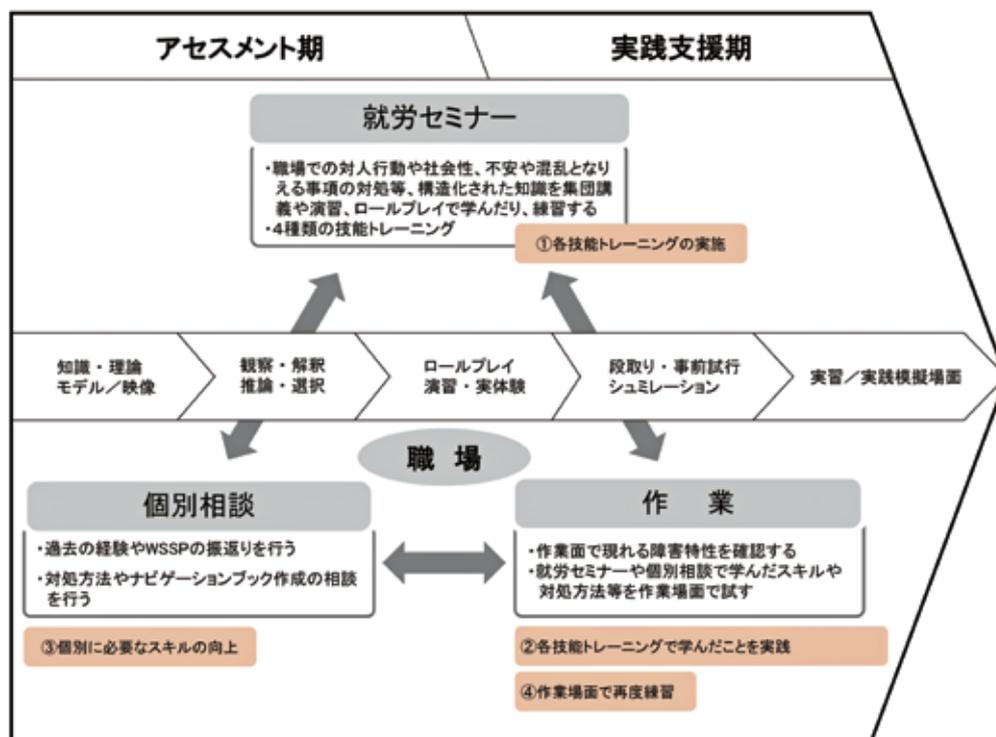


図 1-2 「就労セミナー」、「作業」、「個別相談」の関連づけ

<引用・参考文献>

- 1) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 8 発達障害者のための問題解決技能トレーニング」、2013
- 2) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「実践報告書 No. 34 問題解決技能トレーニングの改良」、2020
- 3) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 6 発達障害者のための職場対人技能トレーニング (JST)」、2011
- 4) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「実践報告書 No. 31 職場対人技能トレーニング (JST) の改良」、2018
- 5) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 10 発達障害者のためのリラクゼーション技能トレーニング」、2014
- 6) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「実践報告書 No. 36 リラクゼーション技能トレーニングの改良」、2021
- 7) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 15 発達障害者のための手順書作成技能トレーニング」、2017
- 8) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター職業センター：「支援マニュアル No. 13 ナビゲーションブックの作成と活用」、2016
- 9) 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 障害者職業総合センター：「トータルパッケージの活用のために (増補改訂版) ワークサンプル幕張版 (MWS) とウィスコンシン・カードソーティングテスト (WCST) 幕張式を中心として」、2013、p4